

事務事業チェックシート

事務事業No 696 事業名 文化団体活動支援事業

[事業基本情報]

分野別目標	5	子どもが輝き、文化が薫る教育のまち
政策	4	文化・スポーツの振興
施策	2	芸術・文化の振興
基本方針	1	芸術・文化活動への支援

事業種別	継続	主な事務事業
事業期間	～	
事業実施の根拠法令		
関連個別計画		
担当課・担当課長 (Tel)	文化振興課	有本 光博(435-1194)
関連課		

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費
	その他		
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務
	その他		
会計・予算区分	会計	一般会計	
	款	教育費	
	項	社会教育費	
	目	文化振興費	
	大事業	文化振興事業	
事項	文化団体活動支援事業		

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束				○

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする）ための事業か）	事業内容				
	和歌山市の文化振興を目的とする。	各種文化団体の活動を支援する。 文化団体活動支援事業（11事業） ・各団体への振興及び運営補助金 視覚障害者団体・和歌山文化協会・和歌山ジュニアオーケストラ・和歌山市民オペラ 紀州民芸盆裁協会・和歌山市吹奏楽団、和歌山市交響楽団、和歌山市合唱団協議会 ・各団体の開催補助金 和歌山児童合唱団定期演奏会・とらふす少年少女合唱団定期演奏会・和歌山市民合唱団発表会				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		視覚障害者団体、和歌山文化協会、和歌山ジュニア・オーケストラ、和歌山市民オペラ、紀州民芸盆裁協会、和歌山市吹奏楽団、和歌山市交響楽団、和歌山市民合唱団協議会各団体への振興及び運営補助金、和歌山児童合唱団定期演奏会とらふす少年少女合唱団定期演奏会、和歌山市民合唱団発表会の開催補助金	視覚障害者団体、和歌山文化協会、和歌山ジュニア・オーケストラ、和歌山市民オペラ、紀州民芸盆裁協会、和歌山市吹奏楽団、和歌山市交響楽団、和歌山市民合唱団協議会各団体への振興及び運営補助金、和歌山児童合唱団定期演奏会とらふす少年少女合唱団定期演奏会、和歌山市民合唱団発表会の開催補助金	視覚障害者団体、和歌山文化協会、和歌山ジュニア・オーケストラ、和歌山市民オペラ、紀州民芸盆裁協会、和歌山市吹奏楽団、和歌山市交響楽団、和歌山市民合唱団協議会各団体への振興及び運営補助金、和歌山児童合唱団定期演奏会とらふす少年少女合唱団定期演奏会、和歌山市民合唱団発表会の開催補助金		

2 事業コスト

事業費等 千円			平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
			当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算
	事業費		1,386	1,386	1,386	1,386	1,386		1,386		1,386	
	伸び率 (%)		-	-	0.0%		0.0%		0.0%		0.0%	
	人件費	常勤職員	708	2,929	2,913	2,860						
		非常勤職員	81	101	101	94						
		小計	789	3,030	3,014	2,954						
	国庫支出金											
	県支出金											
	市債											
	その他											
一般財源（税等）		1,386	1,386	1,386	1,386	1,386						
所要人数	常勤職員	0.10	0.39	0.38	0.38							
	非常勤職員	0.04	0.05	0.05	0.05							
主な予算内訳		文化振興補助金1,386千円										

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況					平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	支援団体数					年度目標値	11	11	11		
						実績値	11	11			
	単位	団体	全体目標値	55	全体目標達成度	40.0%	年度別達成度	100.0%	100.0%		
	会員数					年度目標値	1,959	1,959	1,959		
						実績値	1,959	1,797			
成果指標	事業実施回数					年度目標値	30	30	30		
						実績値	30	42			
	単位	回	全体目標値	150	全体目標達成度	48.0%	年度別達成度	100.0%	140.0%		
						年度目標値					
						実績値					
	単位		全体目標値		全体目標達成度		年度別達成度				

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	○ 緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実	/			
	現状維持	○			
	縮小	/			
	廃止	/			
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	文化振興の面からも重要な事業であり、定期演奏会等への補助金も有効であると考えている。よって、適正な補助金額(増額)を検討する。
「見直し」「改善」案	適正な補助金額を検討する。